

経営新天地の創造

組織・人事構造の改革

—成長行動に向かって攻める—

■講 師 (株)現代経営技術研究所

上級主任研究員 大島 和義

■日 時 1999年7月16日(金) 13:15~16:00

■会 場 東京国際フォーラム G502号室 *裏面地図をご参照下さい。

いかにして新時代を先手で攻めるか
目指す組織・人事の改革は、経営を発展させ
力ある次世代をつくるものだ

<テーマの進行>

セッションⅠ 事業存続主義で攻める

13:15~13:45

- 攻める意思が原点—業界再編、グローバルシステムとローカル強化
- 雇用責任をどう位置付けるか—事業存続主義と組織存続主義の分岐
- 賃下げ命題—国際生産性の低下、総原資逼迫の現実をどう受け止めるか
- 執行役員体制の真偽—外形進化に対してどう実質義務を果たすか
- その他、新動向の掘り下げをもとに進めます。

セッションⅡ 成長意思をこう具体化する

13:45~14:15

- 時間限界が来ている—経営は完璧な施策案を待ってられない
- 過去の負の資産—その清算への決断、意思表示、切り捨ての手順
- エースの起用とリリーフ体制—眼前の課題、その解決への集中
- そして「新構想」をつくる—新鮮な企業目標、事業の中長期構想へ
- 着手第1弾「商品こそ命」—その実行プロジェクトの進め方
- 着手第2弾「体質改革」—成長阻害打破戦略の骨子と実行上のカギ

<コーヒーブレイク> 15分

セッションⅢ 質問と討議—この先10年の衝撃と緩衝策

14:30~15:00

- 質疑と参加者の提起する問題をめぐる討議

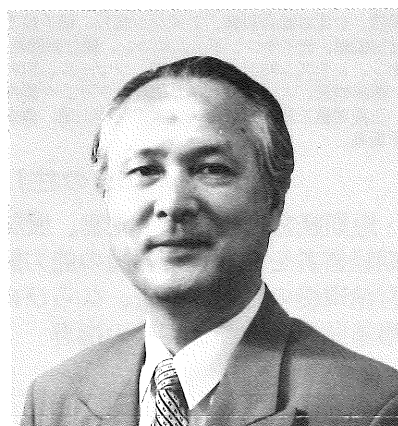
*参加者の方の積極的なご意見・反論・質疑を希望します。特別なテーマについてのご希望も、できるだけお受けします。

セッションⅣ 現実を超える改革を断行する

15:00~15:45

- 改革の手順を明確にせよ—人主義、組織主義、そして新システム化へ
- どうやって本質をわからせるか—イノベーション新職、ソフト生産強化
- 職能資格制度からの切り替え手順—新リーダー構造への移行の仕組み
- 「会社とは何か」に正面から答える—能力開発主義、成果実現主義の実行
- 「現場」をどう切り替えるか—SOHO、営業の深耕力、研究開発の再編
- 人事部は要らないのではないか—究極の質問にどう応え得るか

◆講師プロフィール◆



上場企業、中堅企業の長期戦略、経営政策の立案、新事業開発、組織・人事制度の開発、ならびに市場調査、商品開発、業務改善等のプロジェクトの指導、経営幹部および社員の教育研修の実践歴多数。主業務の他に、東京電機大学講師（経営学講座）を務めた。労働省の人材開発プロジェクトに委員として参加。

※15:45から参加者相互のご紹介の時間を持ちますのでお名刺をご用意下さい。また、提起された問題について、後日、フォローアップの会合をもつ場合があります。